

【2025年度】児童発達支援事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	ハッピーライフきたおおさか			
○保護者評価実施期間	2025年11月20日 ~2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1人	(回答者数)	0人
○従業者評価実施期間	2026年1月15日 ~2026年1月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月10日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団生活の中で社会性や、コミュニケーション力を高める。	向き合って御話す時間を大切に、自分の意見を伝える、聞く事の力を養います。コミュニケーション力を高め社会性を高める。	自分の思った事を伝える中で、相手に伝わりやすい伝え方で社会性を獲得していけるように伝え、社会性である挨拶なども身に着けて頂けるように伝えている。
2	広々としたフロア空間の中で児童たちが思いっきり体を動かすことができる。	広い空間を使って様々な遊びの幅を広げている。また、その中でルールやお約束事の守ることの大切さを身に着けて頂いている。	遊びの中で児童同士でのトラブルや、口論になった際にはスタッフが仲裁に入りながら相手の意見も聞き、受けとめる事が出来るよう話し合っている。
3	手話や、SSTを学ぶ時間を設けている。	時間を設けて、手話や、SSTの大切さを伝えつつ、楽しみながら学べるように工夫している。	話題の物や、事例にそった劇を通して第三者目線から自分を見つめてもらい、再確認出来るような活動を取り入れている。また、興味から始まり、自然と記憶に残るような学びを提供している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動は充実しているが、個別に関しては弱い。	担当を決めて、個別対応を行っているが様々な活動を通して興味のある事を引き出せていない時もある。	一人一人の強みを把握しながら、個別対応を強化していきたい。
2	保護者との面談回数が少ない。	送迎時に具体的な児童についての話し合いを行っているが、事業所での面談日数が少ない。	定期的に面談を増やし、普段聞けない事やご家庭のことなど、児童についての情報を共有していけるように設定する。
3	地域交流を開催で着ていたが、頻度が減っているため定期定期に深めていきたい。	担当者会議などで積極的に交流など提案していく。	地域参加型行事や、会議など積極的に参加して行く。